

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 水と緑を守りそだてていくまち

施策番号・名 06 環境への負荷を低減する生活・活動の促進

基本事業番号・名 06-02 地域における環境学習の推進

事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)		
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)
06-02-01	環境政策課 生活環境担当	対象 市民、事業者 市内環境団体、市内小・中学校 手段 ・実行委員会による環境フェスティバルの計画、実施 ・市民等に対する広報活動 ・環境団体、小・中学校、事業者による環境に関するパネル展ほか 意図 ・市民に、市の環境及び地球環境について関心を持ってもらう。 ・事業者、市内環境団体に環境への取組みのについて発表してもらう。	市民人口	平成21年度	来場者数	平成21年度	アンケートに回答してくれた来場者のうち、環境問題に関心を持ったと答えてくれた人の数/アンケート回答者数	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	114,717 (人)			1,081 (人)		100 (%)		310	3,729	4,039	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名: 環境政策課 林 幸雄			
	平成20年度			平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	改善の余地	■あり □なし	23年度以降に向けた方向性	縮小		
	114,418 (人)			924 (人)		100 (%)		397	7,332	7,729	実行委員会・参加団体が主体で実施。創意工夫により来場者はこの2年間で急増し、市内最大規模の環境イベントに成長。来場者アンケート結果からも成果の向上が伺える。開催までの半年間活動する実行委員会の方式は7年が経過。複数職員で対応している会議方法は検討していく必要がある。しかし、開催期間中は複数の職員が対応せざるを得ない状況がある。					
平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	58 (%)	447	11,804	12,251							
06-02-02	環境政策課 政策調整担当	対象 市民・事業者・都内区市 手段 市で行った水質調査等の環境調査結果及び環境基本計画の進捗状況の小冊子による提示 意図 ・市の現在の環境常用の把握 ・過去の環境状況との比較及び将来のための資料	市民人口	平成21年度	市内の環境に関心を持った市民・市内の環境に関心を持ち、環境に配慮した事業を展開する事業者配布した冊子の数	平成21年度	市内の環境に関心を持った市民・市内の環境に関心を持ち、環境に配慮した事業を展開する事業者配布した冊子の数/全市民数・市内事業者数	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	114,717 (人)			66 (人)		0.05 (%)		3	5,046	5,049	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名: 環境政策課 林 幸雄			
	平成20年度			平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	改善の余地	■あり □なし	23年度以降に向けた方向性	縮小		
	114,418 (人)			53 (人)		0.05 (%)		21	6,265	6,286	平成19年度より市ホームページに掲載し、印刷部数を必要最小限とした。このため掲載内容の充実を図る一方、大幅な削減は難しいと考える。					
平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	0.11 (%)	26	11,832	11,858							